



平成 28 年度第 4 回企画展

まるごと富士

同時開催：チャールズ・エマーソン 富士連作

11 月 22 日（火）－2017 年 1 月 29 日（日）

Part 1 / 11 月 22 日（火）－12 月 25 日（日）

Part 2 / 12 月 27 日（火）－1 月 29 日（日）

主催：静岡市東海道広重美術館

（指定管理者 特定非営利活動法人ヘキサプロジェクト）

協力：アントラージュギャラリー

助成：大和日英基金、グレイトブリテン・ササカワ財団

企画概要

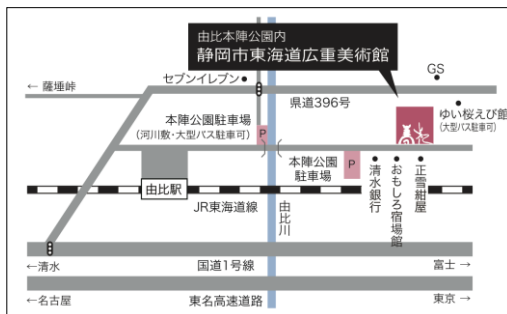
美しく雄大な富士山は、そのものが神の山として信仰の対象とされてきました。標高の高さと均整のとれた裾野の広がり魅了され、その姿は多くの絵画や造形物に表現されています。本展では、江戸時代の絵師、歌川広重が描いた『不二三十六景』、『富士三十六景』の浮世絵版画シリーズを中心に、富士の風景とともに描かれた江戸時代の庶民の姿をご紹介します。あわせて、イギリスの写真家チャールズ・エマーソンが多重露光によりとらえた、幻想的な富士山の姿をご覧ください。

開館時間：午前 9 時～午後 5 時（入館は閉館の 30 分前まで）

休館日：毎週月曜日（祝日の場合は開館、翌平日休館）

入館料：一般 510 円（410 円）／大学生・高校生 300 円（240 円）／中学生・小学生 120 円（100 円）

※静岡市在住または通学している中学生以下及び、静岡市在住の 70 才以上の方は無料 ※身体障害者手帳等をご持参の方及び介助者は無料 ※（ ）は 20 名以上の団体料金



交通案内

電車をご利用の場合

JR 東海道本線「由比」駅下車後 徒歩 25 分、タクシー 5 分

お車をご利用の場合

美術館無料駐車場 21 台（由比本陣公園駐車場）

■大阪・名古屋方面から

東名高速【清水 I.C.】から国道 1 号經由約 20 分

■東京・横浜方面から

東名高速【富士 I.C.】から国道 1 号經由約 25 分

本展覧会及びプレスリリースに関するお問い合わせ

Tel 054-375-4454 / Fax 054-375-5321 info@tokaido-hiroshige.jp

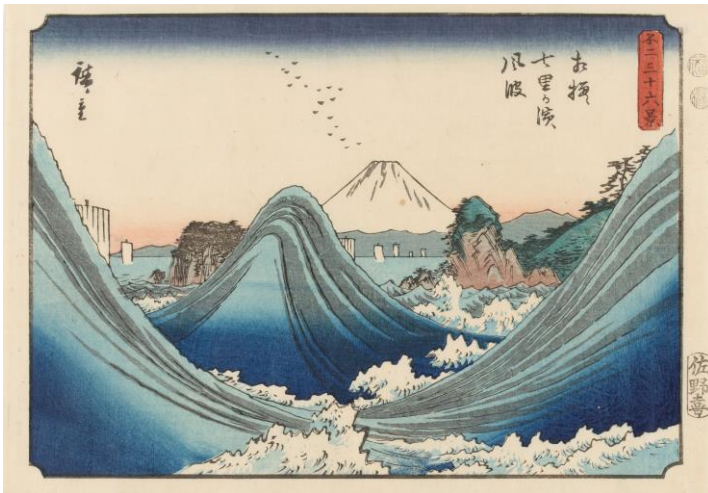
静岡市東海道広重美術館 〒421-3103 静岡県静岡市清水区由比 297-1

[URL] www.tokaido-hiroshige.jp [facebook] www.facebook.com/tokaido.hiroshige

展覧会のみどころ

富士山の絶景スポットをご紹介します

歌川広重は、名所をたくさん描いた絵師として東海道や江戸などの風景の中に富士山を多く描いていますが、いずれも実景（真景）に基づく作画を意識しており、どこから描かれた風景であるのかを知ることができます。江戸時代の人々になりきって、様々な場所から眺める美しい富士山の姿をお楽しみください。



Part 2 展示作品

歌川広重『不二三十六景 相模七里か濱風波』当館蔵



Part 1 展示作品

歌川広重『富士三十六景 甲斐大月の原』当館蔵

関連企画

関連企画 1 チャールズ・エマーソン アーティストトーク(通訳有り)

□日時: 11月23日(水・祝) 13:00-13:40

□参加費: 無料 ※入館料別途

当日当館エントランスホールにお集まり下さい。(申込み不要・定員制限無)

関連企画 2 当館学芸員によるギャラリートーク

□日時: 12月4日(日)、1月8日(日) 13:00-13:30

□参加費: 無料 ※入館料別途

当日当館エントランスホールにお集まり下さい。(申込み不要・定員制限無)

展示作品

『不二三十六景』

『不二三十六景』は広重が描いた最初の富士三十六景シリーズで、嘉永五年（1852）頃、版元佐野屋喜兵衛から刊行されました。大きさは横中判で『富士三十六景』のちょうど半分です。広重の横絵作品には珍しく「東都両國橋下」や「駿河田子の浦」において「近景拡大構図」が用いられ、晩年の画風変遷を辿るうえで重要な作品です。



Part 1 展示作品

歌川広重『不二三十六景 伊豆の海濱』当館蔵

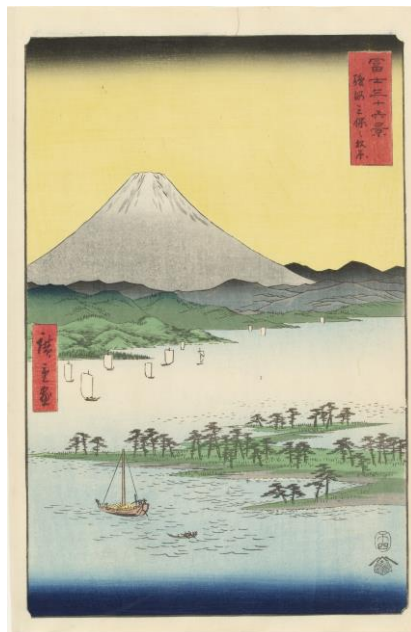


Part 2 展示作品

歌川広重『不二三十六景 駿河富士沼』当館蔵

『富士三十六景』

『富士三十六景』は縦大判の錦絵で、広重が没する安政五年（1858）に版下絵が制作され、翌年に版元蔦屋吉蔵から出版されました。縦長の画面を生かすために俯瞰図法を用い奥行きを広く取って遠近感を出したり、近景のモチーフを拡大したりして描く「近景拡大構図」を用いた画面構成が斬新な作品です。



Part 1 展示作品

歌川広重『富士三十六景 駿河三保の松原』当館蔵



Part 2 展示作品

歌川広重『富士三十六景 駿河薩夕之海上』当館蔵

同時開催：チャールズ・エマーソン 富士連作

本展覧会ではイギリスの写真家チャールズ・エマーソンが捉えた、現代の富士山の姿をご紹介します。エマーソンは多重露光という技術を用いて一つの画面に複数の映像を重ねた幻想的な作品を作り出しています。四方（東西南北）の様々な角度から切り出した富士山と、富士山とともに生きる人々の日常が融合した美しい作品の数々をご覧ください。



全会期展示作品

チャールズ・エマーソン『MT. FUJI - NORTH EAST SOUTH WEST.』(c) 2016 Antlers communication



全会期展示作品

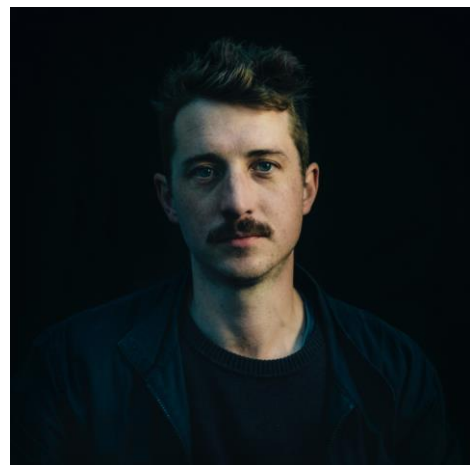
チャールズ・エマーソン『MT. FUJI. 06:30 12:20 18:20 23:10』(c) 2016 Antlers communication

作家紹介

1982年イギリスのデボン出身。ファルマス美術大学写真科を卒業。ブリストル在住。

2013年、彼の作品がイギリスのロックバンドEditorsのアルバム『The Weight of Your Love』のジャケットデザインに起用されたことにより、国際的に彼の作品が注目される機会となった。

近年では、『Time』、『Mondial』、『Intelligent Life』、『Wired』といった雑誌に、山を題材とした彼の作品が特集される。





美術館概要

静岡市東海道広重美術館

静岡市東海道広重美術館は、江戸時代の浮世絵師、歌川広重の名を日本で最初に冠した美術館です。広重の代表作『東海道五拾三次之内』（保永堂版東海道）、『名所江戸百景』など、風景版画の揃物の名品を中心に約 1400 点を収蔵しています。浮世絵と現代作品をつなぐ企画展を開催するなど、「新たな浮世絵文化」の発信に力を入れています。



三代歌川豊国『広重死絵』当館蔵

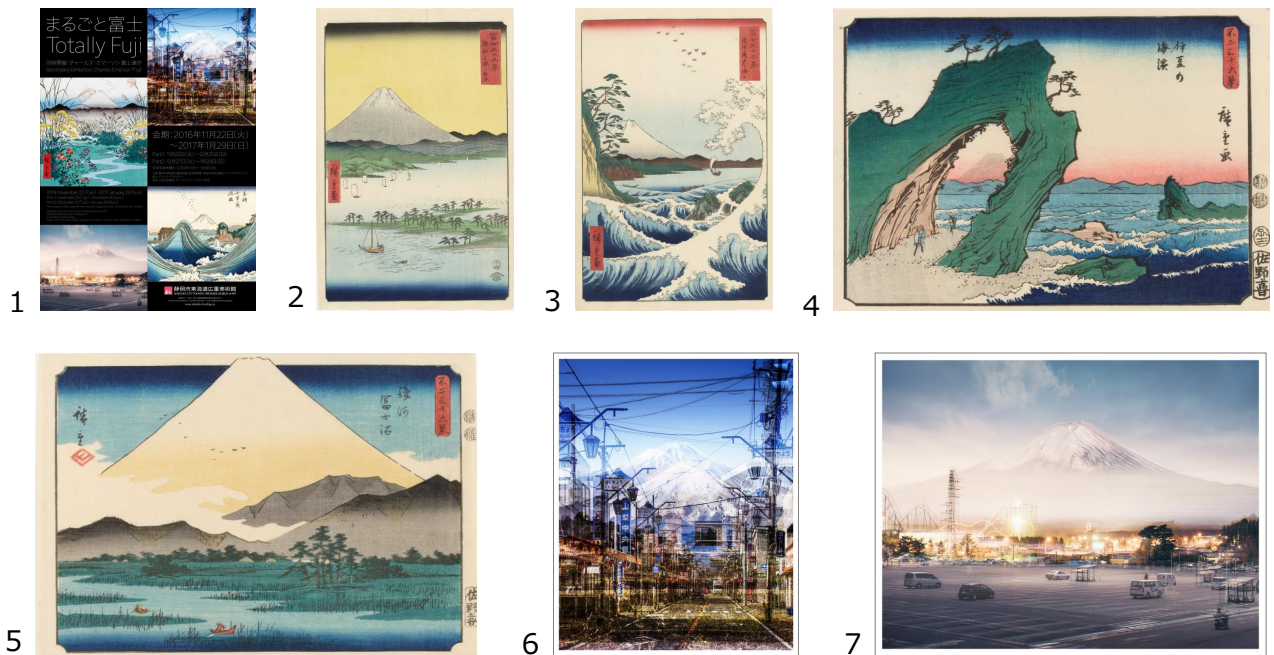
広重について

歌川広重（1797 - 1858） 浮世絵師

15 歳頃に歌川豊広に入門。保永堂から刊行された『東海道五拾三次之内』が大好評となり、その後も風景を描いた浮世絵を制作し、名所絵師として名を馳せました。晩年の集大成ともいえる『名所江戸百景』を制作中、病に倒れ 62 歳の生涯を閉じました。広重の大胆な構図や抒情性豊かな作風は万人に愛され、国内外の作家に影響を与え続けています。

広報用画像提供のご案内

展覧会広報用として下記 5 点のデジタルデータをご用意しております。ご希望の場合はメールまたはファックスにてお申込みください。



□作品名およびクレジット

- | | |
|----------------|---|
| 1. 展覧会ポスターイメージ | ©Shizuoka City Tokaido Hiroshige Museum of Art |
| 2. 歌川広重 | 『富士三十六景 駿河三保之松原』静岡市東海道広重美術館蔵 |
| 3. 歌川広重 | 『富士三十六景 駿河薩夕之海上』静岡市東海道広重美術館蔵 |
| 4. 歌川広重 | 『不二三十六景 伊豆の海濱』静岡市東海道広重美術館蔵 |
| 5. 歌川広重 | 『不二三十六景 駿河富士沼』静岡市東海道広重美術館蔵 |
| 6. チャールズ・エマーソン | 『MT. FUJI - NORTH EAST SOUTH WEST.』(c) 2016 Antlers communication |
| 7. チャールズ・エマーソン | 『MT. FUJI. 06:30 12:20 18:20 23:10』(c) 2016 Antlers communication |

〈使用条件〉

- ※作品写真の使用目的は、本展のご紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。
- ※ご使用の際には、画像のトリミングや、別の画像との合成、文字乗せ等とはご遠慮ください。
- ※各画像のキャプション及びクレジットを記名の上、ご使用ください。
- ※ご使用の際には、お手数ですが校正紙を E メール添付にて担当までお送りください。
- ※弊館での広報実績資料とさせていただきます。後日、掲載誌（紙）、URL、番組収録の DVD、CD などお送りいただければ幸いです。



『まるごと富士』

同時開催『チャールズ・エマーソン 富士連作』

広報用画像データ申込書

静岡市東海道広重美術館 広報担当 行

Fax. 054-375-5321 E-mail. info@tokaido-hiroshige.jp

■ご希望の作品番号にチェックをつけてください

1. ☐ 展覧会ポスターイメージ
2. ☐ 歌川広重 『富士三十六景 駿河三保之松原』
3. ☐ 歌川広重 『富士三十六景 駿河薩夕之海上』
4. ☐ 歌川広重 『不二三十六景 伊豆の海濱』
5. ☐ 歌川広重 『不二三十六景 駿河富士沼』
6. ☐ チャールズ・エマーソン 『MT. FUJI - NORTH EAST SOUTH WEST.』
7. ☐ チャールズ・エマーソン 『MT. FUJI. 06:30 12:20 18:20 23:10』

貴社名：

媒体名：

ご担当者名：

TEL：

FAX：

E-mail：

画像到着希望日： 月 日 時頃 ※指定可能時間 10:00～16:00

掲載予定日（コーナー名）： 月 日

〈使用条件〉

※作品写真の使用目的は、本展のご紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。

※ご使用の際には、画像のトリミングや、別の画像との合成、文字乗せ等をご遠慮ください。

※各画像のキャプション及びクレジットを記名の上、ご使用ください。

※ご使用の際には、お手数ですが校正紙をEメール添付にて担当までお送りください。

※弊館での広報実績資料とさせていただくため、後日、掲載誌（紙）、URL、番組収録のDVD、CD などお送りいただければ幸いです。

本プログラムをご紹介いただく際は、ご連絡をお願いいたします。

Tel 054-375-4454 / Fax 054-375-5321 info@tokaido-hiroshige.jp